

令和7年度 第1回沖縄県職業能力開発審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和7年8月29日（金） 午前10時40分から午後12時まで
- 2 開催場所 浦添職業能力開発校
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 議題
 - (1) 第1号議案 会長、会長代理の選出について
 - (2) 第2号議案 沖縄県職業能力開発審議会運営要領（案）について
 - (3) 第3号議案 「沖縄県立職業能力開発校のあり方」及び「第12次沖縄県職業能力開発計画」の策定に向けて
- 5 議事
 - (1) 第1号議案 会長、会長代理の選出について
 - ア 事務局案として、審議会の会長に宮城委員を提案した。
 - イ 質疑応答はなく、全員一致で了承された。
 - ウ 宮城会長が金城委員を会長代理に指名し、金城委員がこれを了承した。
 - (2) 第2号議案 沖縄県職業能力開発審議会運営要領（案）について
 - ア 事務局より資料1に基づき説明を行った。
 - イ 質疑応答はなく、全員一致で了承された。
 - (3) 第3号議案 「沖縄県立職業能力開発校のあり方」及び「第12次沖縄県職業能力開発計画」の策定に向けて
 - ア 事務局より資料2～10に基づき説明を行った。
 - イ 委員から次のような発言があった。
 - ・ 第11次計画の中の女性や高齢者の活躍について、進捗や県の考えを聞きたい。

（事務局回答）

女性、高齢者の活躍について、委託訓練では、保育士、介護など様々なコースを実施しており、多くの女性が受講している。また、高齢者向けの訓練も実施している。女性、高齢者の活躍に向けてどのような取組が効果的であるか、今後実施するアンケート調査や第11次計画の検証の中で整理していきたい。

 - ・ 普通課程の学科については、民間専修学校に影響がある部分であり、議論の対象としてほしい。

（事務局回答）

あり方素案の作成に当たっては、アンケート調査等を行い、環境の変化や企業・労働者のニーズの変化などを踏まえ適切に民間との役割分担を行い、県として重点的に実施すべきはどの分野なのか、こういった対象者にすべき

なのかというところを専修学校及び業界団体からご意見を伺いながら十分に検討してまいりたい。

- ・ 障がい者向けコースの検討に当たっては、障がい者団体や支援機関へのヒアリングを実施してほしい。

(事務局回答)

障がい者の個々の特性に応じて、どのような訓練や就職支援が必要かについて、関係団体と協力、連携しながら今後も取り組んでいきたい。ヒアリングについても行ってまいりたい。

- ・ 経済的な理由で民間専修学校には行けないが、職業能力開発校なら行くことができる子どもたちがいる。民間専修学校と職業能力開発校それぞれの役割を確認できることを期待している。また、校舎が古いので、今後に向けどのように整備していくかを考えてなくてはならない。

(事務局回答)

校舎の老朽化について、施設の耐震調査を今後予定しており、必要に応じて建替の検討も行いたい。また、役割分担については、関係機関との意見交換、ヒアリング等を行い検討していきたい。

- ・ 建物の耐久年数はどのくらいか。あと何年使う予定か。

(事務局回答)

県の個別施設計画では、65年間使用できるよう計画的な改修を行っており、次年度以降、今回策定する訓練科のあり方や拠点のあり方も踏まえて、施設整備計画を検討・策定してまいりたい。

- ・ 民間の施設の活用を検討するのはどうか。

(事務局回答)

その点も含めて検討してまいりたい。

- ・ 県立職業能力開発校での DX や ICT に対応した訓練導入はどう考えているか。また、空調服などの熱中症対策の充実も必要であると感じた。

(事務局回答)

建設業界の状況に応じた DX や ICT の訓練や、熱中症対策もしっかり行っていきたい。

- ・ デジタル人材育成はここ数年で企業ニーズが高まっている。DX に対応した人材をどう育成したか、今後の企業ニーズを見据えながら、どのようにカリキュラムの中身を決めていくかということを考えていかなければならないと思う。

(事務局回答)

デジタル人材の育成について、今後必要となってくる人材も可能な限り把握しながら進めたい。

- 多様な人材の活躍促進に向けた職業能力開発校の役割に関し、普通課程では女性からの申込がないのか、逆に委託訓練を見ると、定員以上のところも多いようなので、職種で選ばれているのか傾向が分かればご説明いただきたい。

(事務局回答)

施設内訓練に関しては男性が多く、委託訓練では女性が多い傾向にある。要因は、訓練科目と考えている。

- 論点案のデジタル技術を活用した職業訓練の推進については、既に実施しているのか、それとも今からの将来を見据えてどういうことをやっていけばいいかということが論点になるのか。

(事務局回答)

委託訓練の中では既に e-ラーニングの講座も設けているが、施設内訓練は座学だけでなく実習が多いため、どのようにデジタル技術を活用していくかということも、今後の課題として検討していきたい。

- 訓練指導員については、人員の確保・育成が課題としているが、以前からそういう課題があって、具体的な対策が打てていない状況なのか、それとも処遇が課題となっているのか。

(事務局回答)

指導員の安定的な確保・育成は重要な課題であり、長期的な訓練科のあり方を踏まえながらその方策についても検討していく必要があると考えている。

その他委員の皆様から出された意見については、今後検討していきたい。

6 会議の公開・非公開 公開

沖縄県職業能力開発審議会運営要領 第5条 会議の公開に基づく

令和7年8月29日

〔沖縄県商工労働部労働政策課〕